

参考(湘南鎌倉総合病院隣接施設(特措法に基づく臨時の医療施設))

- 緊急事態宣言下、神奈川県及び医療法人沖縄徳洲会が湘南ヘルスイノベーションパーク内グラウンド(民間所有地を無償借受け)に臨時の医療施設を建設。2020年4月に着工、5月に1期工事分の39床の整備・稼働開始、6月に全180床の整備完了。
- 受入対象者と入院状況等：中等症患者。現時点で1日60～70名程度が入院。症状急変の際などは神奈川モデルに則り高度医療機関へ転院。
- 医療スタッフ：医師：日勤複数名・夜勤1名、看護師：看護配置10:1(2交代制)*病棟の種別によって異なる。
- 施設内容：プレハブ病棟5棟で合計180床(大部屋・個室あり)。他に管理棟3棟(1医師・看護師スタッフルーム、2会議スペース、3、患者用リフレッシュルーム)。
病棟：病室(大部屋・個室)、ナースステーション、PPE着脱所、リネン室、シャワー、トイレ、倉庫
管理棟：診察室、CT室、レントゲン室、薬局、医療資材室、リネン室、ナースステーション、PPE着脱所、宿直室、休憩室、更衣室(男女)、シャワー、トイレ、



(上) 湘南鎌倉総合病院隣接施設の全景。

(右上) 施設内に設置されたCT

(右下) 施設内のナースセンター

